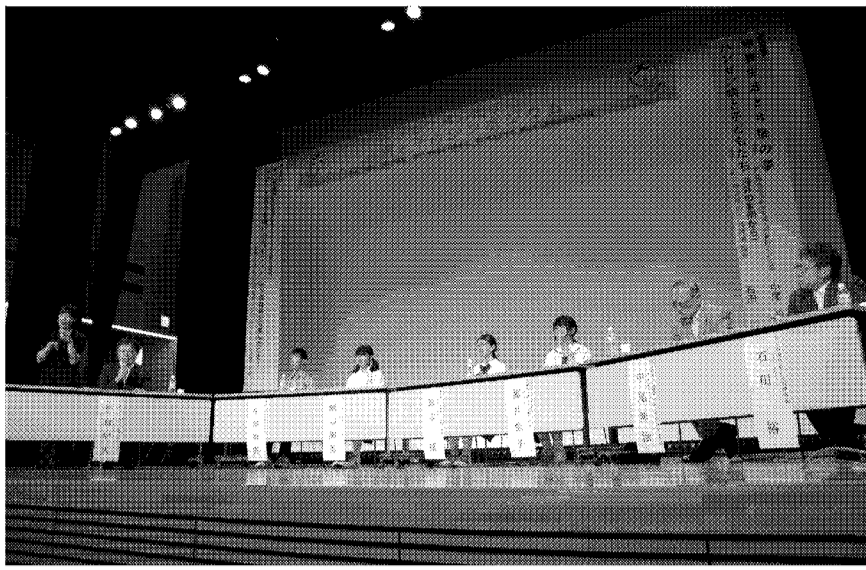


ハンセン病を正しく理解して 偏見や差別なくす



国立療養所長島愛生園を訪れ、ハンセン病について学んだことなどを発表する中学生＝岡山市のさん太ホール



入賞作文を朗読する後藤さん

「ハンセン病」という病気を正しく理解し、患者や回復者の偏見や差別をなくすこと。「ハンセン病」に関する親子のシンポジウム(法務省 厚生労働省 全国人権擁護委員連合会など主催)が7月26日、岡山市のさん太ホールで開催されました。ハンセン病患者は国のあやまった政策で、無理やり療養所にとじこめられ、子どもをくわへることも許されませんでした。今も病気に対する誤解から偏見や差別が残っています。ハンセン病について学んだ岡山市内の中学生も意見を発表しました。

シンポジウムは、山陽女子中学校(岡山市)の放送部員の総務司さん(13)が司会を務め、岡山市内の中学生4人が長島愛生園を訪れて感じたことなどを発表しました。第1部ではハンセン病回復者の平沢保治さんの実話をもとにしたアニメビデオ「未来への虹」を上映し、ハンセン病を正しく理解し、偏見や差別なくすことを呼びかけました。

また、第33回全国中学生人権作文コンテスト法務大臣賞を受賞した盛岡市(岩手県)の稀さんが、入賞作文を朗読しました。

「一人でも多くの子たちを救済」

特別に、体罰、虐待など子どもに関する人権侵害には社会的な関心が高まっていますが、残念ながら、いじめやいじめが原因とされる児童・生徒の自殺という悲惨な事件が後を絶たない状況にあります。法務省の人権擁護機関として、一人でも多くの子どもの声を聞き取り、一人でも多く救済できるように活動してまいります。



国立療養所長島愛生園入所者自治会会長 中尾伸治さん

「一人でも多くの子たちを救済」

特別に、体罰、虐待など子どもに関する人権侵害には社会的な関心が高まっていますが、残念ながら、いじめやいじめが原因とされる児童・生徒の自殺という悲惨な事件が後を絶たない状況にあります。法務省の人権擁護機関として、一人でも多くの子どもの声を聞き取り、一人でも多く救済できるように活動してまいります。

「一人でも多くの子たちを救済」

特別に、体罰、虐待など子どもに関する人権侵害には社会的な関心が高まっていますが、残念ながら、いじめやいじめが原因とされる児童・生徒の自殺という悲惨な事件が後を絶たない状況にあります。法務省の人権擁護機関として、一人でも多くの子どもの声を聞き取り、一人でも多く救済できるように活動してまいります。



国立療養所長島愛生園入所者自治会会長 中尾伸治さん

「一人でも多くの子たちを救済」

特別に、体罰、虐待など子どもに関する人権侵害には社会的な関心が高まっていますが、残念ながら、いじめやいじめが原因とされる児童・生徒の自殺という悲惨な事件が後を絶たない状況にあります。法務省の人権擁護機関として、一人でも多くの子どもの声を聞き取り、一人でも多く救済できるように活動してまいります。

「一人でも多くの子たちを救済」

特別に、体罰、虐待など子どもに関する人権侵害には社会的な関心が高まっていますが、残念ながら、いじめやいじめが原因とされる児童・生徒の自殺という悲惨な事件が後を絶たない状況にあります。法務省の人権擁護機関として、一人でも多くの子どもの声を聞き取り、一人でも多く救済できるように活動してまいります。



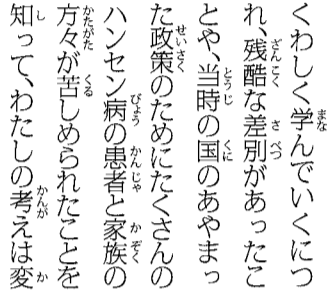
国立療養所長島愛生園入所者自治会会長 中尾伸治さん

「一人でも多くの子たちを救済」

特別に、体罰、虐待など子どもに関する人権侵害には社会的な関心が高まっていますが、残念ながら、いじめやいじめが原因とされる児童・生徒の自殺という悲惨な事件が後を絶たない状況にあります。法務省の人権擁護機関として、一人でも多くの子どもの声を聞き取り、一人でも多く救済できるように活動してまいります。

「一人でも多くの子たちを救済」

特別に、体罰、虐待など子どもに関する人権侵害には社会的な関心が高まっていますが、残念ながら、いじめやいじめが原因とされる児童・生徒の自殺という悲惨な事件が後を絶たない状況にあります。法務省の人権擁護機関として、一人でも多くの子どもの声を聞き取り、一人でも多く救済できるように活動してまいります。



岡山市立高島中3年 生田幸樹さん

「一人でも多くの子たちを救済」

特別に、体罰、虐待など子どもに関する人権侵害には社会的な関心が高まっていますが、残念ながら、いじめやいじめが原因とされる児童・生徒の自殺という悲惨な事件が後を絶たない状況にあります。法務省の人権擁護機関として、一人でも多くの子どもの声を聞き取り、一人でも多く救済できるように活動してまいります。



岡山市立高島中3年 生田幸樹さん

「一人でも多くの子たちを救済」

特別に、体罰、虐待など子どもに関する人権侵害には社会的な関心が高まっていますが、残念ながら、いじめやいじめが原因とされる児童・生徒の自殺という悲惨な事件が後を絶たない状況にあります。法務省の人権擁護機関として、一人でも多くの子どもの声を聞き取り、一人でも多く救済できるように活動してまいります。

「一人でも多くの子たちを救済」

特別に、体罰、虐待など子どもに関する人権侵害には社会的な関心が高まっていますが、残念ながら、いじめやいじめが原因とされる児童・生徒の自殺という悲惨な事件が後を絶たない状況にあります。法務省の人権擁護機関として、一人でも多くの子どもの声を聞き取り、一人でも多く救済できるように活動してまいります。

「一人でも多くの子たちを救済」

特別に、体罰、虐待など子どもに関する人権侵害には社会的な関心が高まっていますが、残念ながら、いじめやいじめが原因とされる児童・生徒の自殺という悲惨な事件が後を絶たない状況にあります。法務省の人権擁護機関として、一人でも多くの子どもの声を聞き取り、一人でも多く救済できるように活動してまいります。

「一人でも多くの子たちを救済」

特別に、体罰、虐待など子どもに関する人権侵害には社会的な関心が高まっていますが、残念ながら、いじめやいじめが原因とされる児童・生徒の自殺という悲惨な事件が後を絶たない状況にあります。法務省の人権擁護機関として、一人でも多くの子どもの声を聞き取り、一人でも多く救済できるように活動してまいります。

「一人でも多くの子たちを救済」

特別に、体罰、虐待など子どもに関する人権侵害には社会的な関心が高まっていますが、残念ながら、いじめやいじめが原因とされる児童・生徒の自殺という悲惨な事件が後を絶たない状況にあります。法務省の人権擁護機関として、一人でも多くの子どもの声を聞き取り、一人でも多く救済できるように活動してまいります。

「一人でも多くの子たちを救済」

特別に、体罰、虐待など子どもに関する人権侵害には社会的な関心が高まっていますが、残念ながら、いじめやいじめが原因とされる児童・生徒の自殺という悲惨な事件が後を絶たない状況にあります。法務省の人権擁護機関として、一人でも多くの子どもの声を聞き取り、一人でも多く救済できるように活動してまいります。

平成26年度啓発活動重点目標

みんなで築こう人権の世紀

かんがえよう 相手の気持ち
そだ育てよう 思いやりの心

「人権」とは、人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに持っています。あなたにも、私にも人権があります。お互いに相手の立場を考え、思いやりの気持ちを持って相手に接する心が大切です。それが人権を尊重することになります。

子どもの人権110番(全国共通・通話料無料)
☎0120-007-110
インターネット人権相談受付窓口

●パソコンはこちらから
<http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken113.html>

●携帯電話はこちらから
<https://www.jinken.go.jp/soudan/mobile/001.html>

いじめなどで悩んでいるら、一人で悩まないで相談してください。お近くの法務局・地方法務局の職員や人権擁護委員が相談をお受けします。

法務省人権擁護局ホームページ <http://www.moj.go.jp/JINKEN/>
人権啓発活動ネットワーク協議会 <http://www.moj.go.jp/jinkennet/>
人権ライブラリーホームページ <http://www.jinken-library.jp>

未来への人権啓発ビデオ
皆さん、ぜひ一度見てください。
ハンセン病問題啓発ビデオ
未来への虹
一ほくのおじさんは、ハンセン病一

平成17年度文部科学省特別選定(少年向)、向選定(青年向・成人向)
2006年優秀映像教材選定最優秀作品賞(文部科学大臣賞)受賞
ビデオの貸出し(無料)を行っています。
詳しくは、お近くの法務局・地方法務局 又は公益財団法人人権啓発推進センター「人権ライブラリー」にお問合せください。